

# 令和7年第5回大野城市議会9月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和7年10月27日（月） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
松崎 正和	<p>1. 大野城市役所内の職場環境について</p> <p>(1) 先月9月12日に20年振りの新市長が就任し40日程が経過した。この間、部課長会議等の職場環境や職員の発言行動にも多少の変化があると聞くが、橋本副市長の率直な感想を伺いたい</p> <p>(2) ここ最近パワハラが原因と思われる休職者の増加が度々新聞報道された。新市長が誕生した今、この反省を踏まえ、大野城市職員を長く経験した橋本副市長は今後どのような職場を目指そうとするのかお聞かせいただきたい</p> <p>2. 中学校給食について</p> <p>(1) 今回の市長選挙の最大の争点は、中学校給食の「選択制」の継続か「全員制」への変更かであったと言える。結果、市民は全員制を選んだ。 この結果を受け、堤市長は今後「全員制」実現に向けてどのように進めて行くのか、また、いつを目処にしているのか今時点での考えを伺いたい</p> <p>(2) 学校給食にも色々なやり方があるが、今現在で大野城市に実施可能と思われる方法は</p>
平田 不二香	<p>1. 安心して産み、育てられる大野城市を目指して</p> <p>(1) 9年連続して出生数が減少、国内の少子化が進んでいる。少子化問題に関する本市の現状と課題、今後の対策について、堤市長の見解を問う</p> <p>(2) 妊娠期から出産・育児期までの一貫した切れ目のない支援について、本市の見解と主な取組を問う</p> <p>(3) 産後ケア事業について</p> <p>2. JR大野城駅の西側エリアの土地活用について</p> <p>(1) JR大野城駅は本市の中心部に位置し、その西側には、九州大学筑紫キャンパスをはじめ、本市の小学校、中学校があり、春日市の県立春日高校も隣接する一大文教地区である。当該エリアの今後の利活用、地区計画等についてや、本市が九州大学と結んでいる連携協力協定の目的や内容、実績などの詳細と九州大学筑紫キャンパス内の土地の活用について、立地の良さを活かして、市民の健康増進、スポーツ推進を図り、地域交流の場となるスポーツアリーナの設置を望む市民の声があるが、検討できないか。堤市長の見解を問う</p>
中村 慎一郎	<p>1. ハラスメント対策について</p> <p>(1) ハラスメント対策の現状について市長に伺う</p> <p>(2) ハラスメント条例を制定する予定及びプロセスについて</p> <p>(3) メンタルヘルスマネジメントの大野城市内事業所への普及促進について</p> <p>2. はしかワクチン（麻しん風しんワクチン）接種補助について</p> <p>(1) これまでの風しんワクチン接種の公費助成について</p> <p>(2) 福岡県下における風しん及びはしかの発症者について</p> <p>(3) はしかのワクチン未接種世代への啓発と補助事業について</p>

	<p>3. 地域企業の経済活性化について</p> <p>(1) 商工会との連携・協力について市長に伺う</p> <p>(2) 高齢者対象のお米券配布事業について</p> <p>(3) お米券配布の現状について</p>
森 和也	<p>1. 災害への備えについて</p> <p>(1) 市長の選挙公報と所信表明について</p> <p>(2) 指定避難所のトイレについて</p> <p>(3) 指定避難所の空調設備について</p> <p>(4) (仮称) 防災危機管理センターについて</p>
岡部 かおり	<p>1. 子ども医療費助成拡充について</p> <p>(1) 本市では10月から中学生までの医療費が無償化されるが、近隣市では高校生まで対象とする自治体もある。18歳までの医療費無償化の拡充を行う考えはあるか市長の見解を伺う</p> <p>(2) 本市の子ども医療費の現状について、対象年齢、自己負担の有無及び、助成対象者数は。また、直近年度の予算規模について伺う</p> <p>(3) 近隣自治体の(春日市・太宰府市・筑紫野市・那珂川市) 子ども医療費助成制度について伺う</p>
山上 高昭	<p>1. お金のかからない選挙を目指して</p> <p>(1) 公共施設の利用について</p> <p>(2) 選挙運動ビラの頒布場所について</p>

## 令和7年第5回大野城市議会9月定例会一般質問通告

○本会議（4日目）一般質問

令和7年10月28日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
河野 敏生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不登校児童生徒への対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 不登校児童生徒の社会的自立の取組について</li> <li>(2) 不登校0の学校づくりについて</li> </ol> </li> <li>2. 来年度からの中学校35人学級について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教室は足りるのか</li> <li>(2) 教職員は足りるのか</li> </ol> </li> <li>3. 小中学生の人権感覚涵養のための支援について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 差別事象について</li> <li>(2) 人権学習や歴史認識カリキュラムについて</li> </ol> </li> </ol>
永利 恭子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 魅力ある職場づくりを市民サービスの向上に繋げる               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員採用の状況と職員の実人数は</li> <li>(2) 特定事業主行動計画について</li> <li>(3) ハラスメント条例について</li> <li>(4) 職員を目指す人から選ばれる市役所にして市民サービスの向上に繋げてはどうか、市長の考えを伺う</li> </ol> </li> <li>2. 誰ひとり取り残さない中学校全員制給食に向けて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 選択制から全員制に移行の検討を進める理由は何か</li> <li>(2) 先行自治体の事例を参考にしてはどうか</li> <li>(3) 専門家も入れた検討会などを作ってはどうか</li> </ol> </li> </ol>
大塚 みどり	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. だれも取り残さない支援体制の強化（ひきこもり支援・地域防災力）について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ひきこもりに対する認識と支援のあり方について市長の考えを伺う</li> <li>(2) 本市におけるひきこもりの現状について、年齢層や相談件数に加え、長期化や当事者の高齢化といった傾向について伺う</li> <li>(3) 福祉サービス課では住民の生活に関する幅広い相談を受けているが、具体的にはどのような内容の相談があるのか伺う</li> <li>(4) ひきこもり相談に関わる専門職には、どのような職種があるのか伺う</li> <li>(5) ひきこもりの現在の支援体制における課題について、どのように捉えているか伺う</li> <li>(6) 市民の中には「どこに相談してよいかわからない」といった声も聞かれる。こうした状況を踏まえ、ひきこもりに特化した相談窓口の設置や専門職の体制強化が必要ではないかと考える。市長の見解を伺う</li> <li>(7) 防災士の地域における役割について、特に女性防災士の視点を踏まえた避難所運営や地域防災への貢献について、市長の考えを伺う</li> <li>(8) 令和5年3月定例会以降、(仮称)女性防災士会の発足に向けた検討は、どのように進められてきたのか伺う</li> <li>(9) (仮称)女性防災士会の発足に向けた、今後の具体的なスケジュールや方針について伺う</li> </ol> </li> </ol>
原田 真光	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大野城市職員の働きやすい環境整備について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員定数について</li> <li>(2) 組織及び働き方改革について</li> </ol> </li> </ol>

	<p>2. 放課後子ども事業ランドセルクラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 契約及び登録者数の推移及び配慮を必要とする児童について</li> <li>(2) 支援員について</li> </ul>
井福 大昌	<p>1. 地球沸騰化時代から市民を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 今まさに、地球沸騰化の時代と言えますが、政治・行政の最大の使命は何でしょうか。市長の考えを伺います</li> <li>(2) 熱中症アラートなど、この異常な猛暑・酷暑に対する熱中症の予防として、国が示しているガイドラインや市民への行動指針を教えてください</li> <li>(3) 学校での水分補給対策について</li> <li>(4) 市独自の酷暑対策について</li> <li>(5) 公共施設における熱中症対策の全国の先進事例はどれくらい把握されていますか</li> </ul>